

日時：2017年10月20日（金）13:30～15:30

場所：びわ湖メッセ会場（長浜バイオ大学ドーム）内 セミナー室①

太陽光発電による売電事業の終焉 SiCが拓く近未来の新事業とは何か？

新たな電力用半導体SiC（炭化ケイ素）の登場で、太陽光による発電電力をさらに増大することができます。いっぽう売電価格の低下で太陽光発電事業が頭打ちになる中で、太陽光発電や蓄電池の価格低下により、自家消費や電力自由化による市場取引が進んでいます。本セミナーでは、メガソーラー等の大電力分野と、災害時に強い小型自立発電等の小電力分野のそれぞれについて、企業における商品化事例、また本委託事業における大学での研究成果による将来の方向性について議論いたします。

座長：中嶋洋一（滋賀県県民生活部エネルギー政策課）

プログラム：

I. サテライトクラスター滋賀

【1】プロジェクト概要と太陽光発電分野への応用

10分

安田昌司（滋賀県立大学 教授、研究統括）

【2】大電力分野の太陽光発電 現状と近未来

30分

1) (株)ニプロン

2) 柿ヶ野浩明（立命館大学 准教授）

【3】小電力分野の太陽光発電 現状と近未来

45分

1) (株)クリーンベンチャー21

2) 平岡織染(株)

3) 奥健夫（滋賀県立大学 教授）

II. コアクラスター京都 特別講演

メガソーラーシステム発電機能の画像診断技術の開発

石河泰明（奈良先端科学技術大学院大学 准教授） 20分

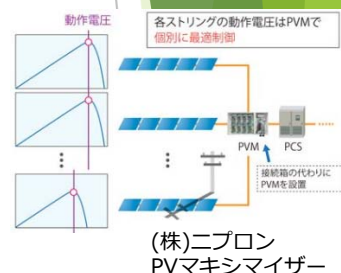
III. 質疑応答、名刺交換

申込方法

びわ湖メッセホームページより、来場者事前登録した後、セミナー参加登録をお願いします。 <http://www.biwako-messe.com/>

定員 80名

締切 10月13日（金）



(株)ニプロン
PVマキシマイザー

(株)クリーンベンチャー21
自発光式道路鎮



平岡織染(株)
農場のソーラーシェアリング

主催 滋賀県立大学 立命館大学 滋賀県

共催 滋賀県環境産業創造会議 (公財)京都高度技術研究所

後援 国立研究開発法人科学技術振興機構